

会 議 結 果 報 告 書

会議の名称	令和元年度 第3回在宅医療・介護連携代表者会議及び認知症施策推進会議
開催日時	令和2年1月31日（金）午後7時30分～9時
開催場所	健康増進センター 2階 ホール
出席委員	岩崎委員、宮本委員、正岡委員、田代委員、西委員、太田委員、長谷川委員、 深谷委員、富澤委員、柴田委員、鈴木委員、関根委員、大原委員、土屋委員、 石幡委員、飯田委員、佐々木委員（計17人）
欠席委員	鎌田委員、福島委員、川上委員、田村委員、原藤委員、溝尾委員（計6人）
議 題	議事 （1）令和元年度 認知症初期集中支援チーム事業実施報告について （2）在宅医療・介護連携推進事業について 各ワーキンググループからの進捗報告 （3）令和2年度在宅医療・介護連携推進事業について （4）その他 周知事項等
結 果	審議内容の記録のとおり （傍聴者0人）
事 務 局	朝霞地区医師会地域包括ケア支援室 菅田コーディネーター 健康福祉部村上部長、豊島次長、長寿応援課中村課長、奥田主幹、斉藤主査、 高橋主事
審議内容の記録（審議経過、結論等）	
<p>1 開会</p> <p>2 岩崎会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>（1）令和元年度 認知症初期集中支援チーム事業実施報告 （平成31年4月1日から令和元年12月31日までの実施報告） ※事務局より説明。</p> <p>本事業は平成28年度から実施しており、毎年度13件程度で推移していたが、今年度は依頼件数が減少し、4件の実施である。対象としては、他にも数件挙げられていたが、訪問前に状況変化で受診となり、訪問が不要になったり、本人が訪問を拒否するなど事業の利用に繋がらなかった。利用者は4人とも後期高齢者で、認知症のアセスメントを3人に行った結果、DASC-21（地域包括ケアシステムにおける認知症アセ</p>	

メントシート)では3人全てが認知症の疑い、HDS-R(長谷川式簡易知能評価スケール)では2人が認知症の疑いがあることがわかった。事業実施後、4人中3人が専門医の受診に繋がっている。本事業は、医療と介護・福祉の専門職が多職種で同時に支援を届けられ、これまでの実績から約8割が訪問後に適切な医療や介護サービスに繋がっている。従って、今後の課題としては、さらに増えていくと思われる認知症の早期発見、早期支援に向けて、関係機関も含めた事業周知及び利用促進をさらに図っていく必要がある。

(2) 在宅医療・介護連携推進事業について(各ワーキンググループからの進捗報告)

(イ) 在宅医療・介護連携課題抽出ワーキンググループ

リーダー富澤委員より報告

今年度1回目のワークショップを9月6日(金)に開催し、2回目を3月6日(金)にケアカフェしきと同時開催で実施する予定である。講師及びファシリテーターは昨9月に続き、埼玉県立大学の川越雅弘氏に依頼して実施する。周知や当日の内容については、本日会議終了後の打合せにて検討する。

(カ) 在宅医療・介護関係者研修ワーキンググループ

リーダー土屋委員より報告

今年度2回目の「ケアカフェしき」をワークショップの後に開催予定。当初は昨年度同様に専門職向けの研修も含めようと考えていたが、時間がタイトなため、内容を会議後の打合せにて検討する。ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の普及啓発ツールである「もしバナゲーム」の体験が良いかと考えている。

(キ) 地域住民への普及啓発ワーキンググループ

リーダー飯田委員より報告。

10月に開催した住民向け講演会では、歯科について委員の宮本先生に講演をしていただき、好評だった。現在、医療介護情報誌「ほほ. えみ」の最新号を作成し、校正の最終段階に入っている。3月6日の医療介護連携ワークショップ及びケアカフェしきの際に関係者に配布できるよう準備を進めている。医療・介護について、わかりやすく身近に感じていただくため、今後も地域の専門職を紹介したり、記事を掲載したいと考えている。

(3) 令和2年度在宅医療・介護連携推進事業について

※事務局より報告

令和2年度は第3期となる委員を委嘱し、新体制となる。在宅医療介護連携推進事業の事業計画としては、ワーキンググループでの活動としては今年度と同様に、(イ)在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討グループ、(カ)医療・介護関係者の研修グループ、(キ)地域住民への普及啓発グループの3つを編成し、具体的な取組を進めていきたいと考えている。また、次年度は朝霞地区医師会地域包括ケア支援室と朝霞地区4市と協働で、朝霞地区版入退院支援ルールの作成及び普及啓発、人生の最終段階に

おける医療と介護を担う人材育成等を考えている（入退院支援ルールの埼玉県での進捗状況等を地域包括ケア支援室の菅田コーディネーターよりご説明いただく）。

第2回代表者会議の際に、在宅医療・介護連携推進事業の評価指標として、第8期介護保険事業計画に向けた市民向けのニーズ調査と介護者及び介護サービス事業所向けの調査を活用したい旨をお伝えしたが、調査の内容が確定し、2月中に郵送し、実施することとなったので報告する。全体的に、在宅医療・介護連携に関して評価指標となり、取組みに反映できるような項目を増やしている。調査結果は次年度の会議の場で報告したい。

4 その他

各団体等からの周知事項

- 石幡委員より、高齢者あんしん相談センター館・幸町主体で開催する講演会等の事業について周知があった。
- 事務局より、次年度の新委員の委嘱に向け、各団体、所属で次期委員についてご検討いただき、交替の場合は引継ぎをお願いしたい。次期委員の確認は、4月中を予定している。

〈次回日程〉

第1回会議 令和2年5月中で予定。

以上